

リーゼルフエルト地区住民の満足度アンケート要約

1. 前置き

2010年初めに、フライブルク応用社会学研究所(登録法人 - FIFAS)はリーゼルフエルト団地プロジェクトチームより、プロジェクトの暫定評価を出すために住民の満足度アンケート業務を依頼された。

このアンケートはFIFAS、キオスク (K.I.O.S.K.)、女性住民組合(BiV)、及びリーゼルフエルトプロジェクトチームが共同で、2010年5月3日より6月30日までの期間に行った。回答は問合せ数の20%弱、554件であった。

その回答者をグループ別にすると、以下の様になる。

- 居住状況の違い
(建設工期別区域、居住期間、居住形式)

- 社会人口統計学上の状況の違い
(年齢、性別、研修教育状況、家族構成、世帯形式)

2. アンケートの結果

すべての区域から十分な数の回答が示されたため、比較分析がよくできた。特に4工期区域はより多くの回答があった。

[評価表]

	件数	パーセント
とても満足	229	39.9%
満足	254 = 483	45.8% = 85.7%
普通	73	13.2%
不満	3	0.5%
とても不満	3	0.5%
合計	554	100.0%

[リーゼルフエルト地区の生活満足度の程度について]

特に高い評価ポイント

立地条件及び交通網への接続が良い、子供に優しい地域である、社会共生が良い

中程度の評価ポイント

交通インフラについて、シニア施設のオファーについて、子供や青少年大人各々に相応しい施設がある

特に問題点として多い評価ポイント

様々な世代層、青少年世代にふさわしい地域づくりが足りない、公共施設の様式や使用面への配慮（安全性、清潔さ、商業的なプログラム）が少ない

様々な社会層の一致した評価として、家族・子供・障害者に優しい（90%）、女性に優しい（82%）、シニアに優しい（76%）、移民者に優しい（70%）、また青少年に優しい（50%）地域であるとなっている。

3. 満足の理由 (S.20-24)

満足度の評価理由として以下の点があげられる。

1. 社会的かつ文化的な生活
2. 立地条件
3. インフラストラクチャー
4. 子供に優しい地域
5. 都市建設コンセプト
6. その他

喜ばしいことは、「社会的・文化的な生活のクオリティとその多様性」に大変高い意味評価が置かれ、大きな賛同を得ていることである。「持続性ある建設開発」という目標設定が、「社会的かつ文化的な面の展開」にも同様に設定されていることを住民が理解していることにほかならない。肯定的な評価として、地区の立地条件、その自然共生的な姿、都市的な生活感覚と牧歌的な性格との調和、街の中心部への良い接続等があげられている。

民間及び公的なインフラの多彩なプログラム、地域のニーズに合わせた児童施設のあり方、都市建設コンセプトの良いクオリティなどが基本的に大きな満足度の背景となっている。

4. 不満の理由 (S.25-29)

不満の理由については、478件の回答（全アンケートの86%）の中で以下の様になっている。（上から多い順番）

公共空間

交通問題

インフラストラクチャー

社会的・文化的生活

建築様式及び建設関係

環境負荷

公共空間と交通問題は、近い将来注目することが重要であろう。しかしながらそれに関しては、これから2~3年の内に全ての建設作業が終了し、道路システムが十分に機能する計画があることも考えに入れる必要がある。その1例としてリーゼルフエルト通り (Rieselfeldallee) のパーキング空間の計画があげられる。また今後の商店での買い物状況等の展開については、現在建設中のスーパーマーケットが大事なポイントとなるだろう。

社会的・文化的生活という面では、各々の工期地域や人口密度の違いがあげられている。画一的建築様式や、建物の面積に対する密度も示されている。環境負荷に関しては、モバイルアンテナ、騒音、排ガスがあげられている。

5.社会的・文化的プログラムについて(S32-42)

喜ばしいことに、様々な施設のプログラムが非常に高い知名度を持ち、人気も高く、全体的に大変良い評判である。それはこの地域の活動が満足度の基本理由となっているのであろう。色々な面で多様性に富んでいること、社会参加が活発であること、連帯感を伴う共同性があること、どこへ行くにも短距離で便利であること、人のコミュニケーションが良くとれていること、全ての人に開放的であること等、この地域の良いクオリティがあることがあげられる。

回答の中にはもっとプログラムを広げ、補充して欲しいという声もある。これは、社会的・文化的プログラムが高い評価をされているという証しである。

6.公共空間について(S.43-48)

公共空間の重要性について、いかに住民が理解しているかがその回答から読みとれる。

自然保護地域、ムンデンホフ通り (Mundenhofer Strasse)、ヴァルトドライエック(Wald3eck, 3つの森の接点地域)も、マリア・フォン・ルドロフ広場 (Maria-von-Rudloff-Platz)、住宅街の散歩道、中心部に位置する緑地ゾーン、公園、ゲシュヴィスター・シヨール広場 (Geschwister-Scholl-Platz) 等と同様に住民が多く利用している。

しかしアンケートを受けた住民の半数は、区域の中には気持ちの良くない危険を感じる所があるとも答えている。それは多くは子供のいる家族であるが、各々の主観的な安全性への感じ方もあることも考慮に入れる必要がある。

また、第1~第3工期地域よりも第4工期地域に多く言われていることも意外である。第1建設工期

に関しては安全性に関して一番良い評価がある。

□330件の回答は次の様になっている。

- 281 = 85,2% 町が汚い、落ち着きがない
- 23 = 7,0% 町の明かりが少なすぎる
- 16 = 4,8% 交通面での非安全性、及び負荷が多い
- 10 = 3,0% 建設の仕様が良くない

7.将来的なテーマについて (S.49-57)

アンケート中、将来重要とされる3テーマは何かという質問に対して

□1055件が次の様に回答している。

1. 社会的・文化的生活	440
2. インフラについて	174
3. 交通政策	139
4. 公共空間について	138
5. 環境、エコロジー問題	79
6. 建設について	76
7. その他(騒音、住密度、建設終了時、建設作業)	9

全体的にアンケートへの回答が多いということは、住民が社会的・文化的な生活においてすでに満足しており、更に良い展開を望む感心の高さや社会参加への意欲を持っていることを表している。今後の重要な将来的テーマは、人口統計学的変化による世代間の共生と青少年問題である。買い物問題の改善も希望テーマとして多い。現在建設中のスーパーや、現在空き地の部分の建設計画、パーキングの計画等に伴うリーゼルフエルト通りの生活水準の上昇も将来持続性ある改善をもたらすであろう。回答にみられる批評ポイントや、改善提案は住民の将来に向けての期待を表し、積極的な社会参加意欲を示すものとして将来の地域開発において大事なものであると思われる。このリーゼルフエルト地域の建設終了時には、持続性ある交通コンセプトが全体的に最終評価されることとなっており、市の行政側と地域は具体的な交通テーマを共同で作業することが出来ることになる。

8.結論

この15年間で10,000人口に成長したこの新しい市街地域は、住民アンケートで多大な住民満足度

を示した。建設計画及びエコロジーに関する開発、社会的・文化的発展もすべて同等の価値観で決定しながら対策を取ってきたことが、この様な肯定的な結果をもたらした。更には住民のよい理解を得られたことが、政治、行政、市民との大変良い関係を作り上げてきたといえる。今後は多くのボランティア等の社会参加や、現地の民間・公共の各機関の役割参加等がこの地域の良い展開の大事な基盤となるであろう。